

## 4. 本 会 会 告

### 4-1 昭和54年度委員会報告

- 第1回委員会（54年4月17日）
  - (1) 次回（通算第26回）定例研究会につき協議した。
- 第2回委員会（54年5月25日）
  - (1) 事務局より昭和53年度会計報告があり承認された。
  - (2) 次回（通算第27回）定例研究会につき、協議した。
  - (3) HESSゼミナールにつき協議し、企画担当者を決定した。
- 第3回委員会（54年8月28日）
  - (1) HESSゼミナールのプログラムを決定した。
  - (2) 団体会員向け研究会につき協議した。
- 第4回委員会（54年9月25日）
  - (1) HESSゼミナールの参加費を決定した。
  - (2) 2年分会費滞納会員に対する措置につき協議した。
- 第5回委員会（54年11月27日）
  - (1) 次回（通算第28回）定例研究会につき協議した。
- 第6回委員会（55年2月1日）
  - (1) 55年度役員人事につき協議し、赤松秀雄会長以下副会長、幹事、監事は全員再任（任期2年）することを決定した。
  - (2) 事務局は、横浜国立大学内に引き続き1年は置くことを決定した。
  - (3) 事務局長は55年4月1日をもって山口益弘から太田健一郎に交代することを決定した。  
（任期1年）
  - (4) 54年度年報につき協議した。
  - (5) 事務局より、54年度会計中間報告があり、承認された。
  - (6) 次回（通算第29回）定例研究会につき協議した。

○ 第7回委員会（55年3月18日）

- (1) 次回研究会として、第3回世界水素エネルギー会議終了直後に特別シンポジウム「3rd WHECを省みて」を開催することを決定した。

## 4-2 第3回世界水素エネルギー会議のご案内

母体	国際水素エネルギー協会 (IAHE)
主催	第3回世界水素エネルギー会議組織委員会
後援	日本学術振興会 文部省 通商産業省 科学技術庁 アメリカエネルギー省 水素エネルギーシステム研究会 (HESS)
日時	昭和55年6月23日～6月26日
場所	京王プラザホテル(東京都新宿区, 新宿駅下車5分)

混迷する世界のエネルギー事情を打開し、環境的配慮や省エネルギーの立場をふまえた革新的エネルギーシステムの技術開発が切に望まれている昨今ですが、人類究極のエネルギーシステムといわれる水素エネルギーシステムの研究開発は各国とも政府レベルで強力にすすめられており、国際水素エネルギー協会の発足を期に1976年第1回世界水素エネルギー会議がアメリカのマイアミで行われ、第2回が1978年スイスのチューリッヒで、第3回を本年東京で開くはこびとなりました。今回の会議は「人類の究極エネルギーシステムとその開発の現状」を主テーマに以下に示す8セッションを通して210ほどの厳選された論文の発表が予定されており、多くの方々の参加を期待しています。

1. 電解による水素製造
2. 熱化学法およびハイブリッド法による水素製造
3. その他の新しい水素製造技術
4. 貯蔵・輸送
5. 燃焼と動力利用
6. 化学工業、精練における利用
7. トータルシステム、環境、安全問題、材料問題、その他
8. 工業面における水素エネルギー

参加登録費 5月31日まで41,000円、6月1日以後45,000円。この登録費には講演予稿集

(市販価格約10万円), アブストラクト集の他, 国際水素エネルギー協会費1ヶ  
年分(雑誌, Int. J. Hydrogen Energy の配布を含む)などを含んでいま  
す。

参加申込 申込用紙は現在配布中のプログラム中にとじ込まれていますので下記宛連絡を取り,  
入手して下さい。また本冊子巻末にもとじ込んでありますので御利用下さい。

#### 連絡先

〒100 東京都千代田区内幸町2-2-1  
日本プレスセンタービル8階  
日本コンベンションサービス内  
第3回世界水素エネルギー会議事務局  
TEL 03 - 508 - 1211